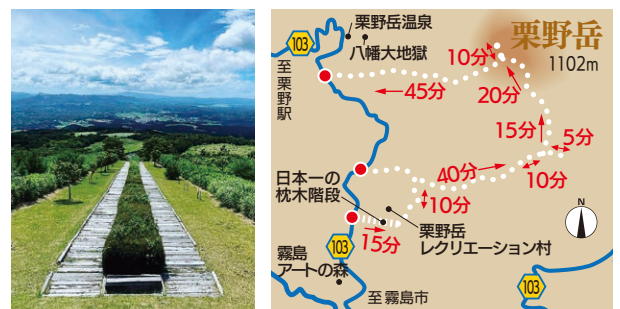


霧島山トレッキングマップ



えびの高原から南側に目を向けたときに、小高いなだらかな丘のように見えるのがえびの岳です。韓国岳の登山道からえびの岳を眺めると、直径1kmほどの大きな火口がはっきり見えます。えびの岳の登山道は、火口の縁を登るように1時間ほどで一周できます。途中にある展望所からは北側にはえびの高原を、南側には桜島や錦江湾を一望でき、360°のパノラマが広がります。霧島山の中でも比較的古い火山であるため、深い森が発達しているのが特徴で、春には新緑、秋には美しい紅葉を楽しむことができます。

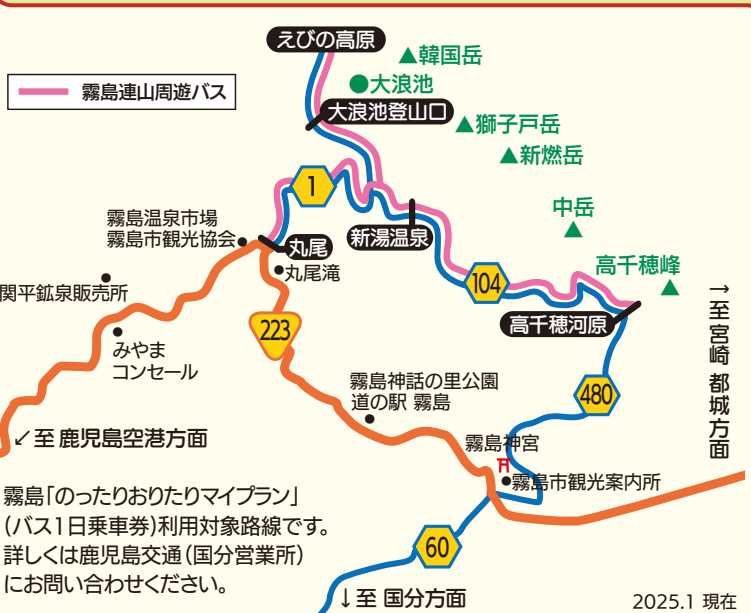
栗野岳は、霧島山の中でも初期にできた古い火山とされています。
野外美術館「霧島アートの森」の約200m先に「日本一の枕木階段」があり、その先に「登山道入口」があります。
カシワの原生林、もみじ群生地を通り、山頂からは韓国岳や錦江湾、桜島など大パノラマが望めます。
登山口は3カ所あり、それぞれ周遊ルートを楽しめます。



Information

お問い合わせ：鹿児島交通(国分営業所) ☎ 0995-45-6733

丸尾⇄えびの高原⇄高千穂河原					
丸尾 ①	8:30	10:30	12:30	高千穂河原	15:30
丸尾温泉	8:31	10:31	12:31	湯之野温泉	15:42
硫黄台	8:35	10:35	12:35	新湯事業所	15:46
龍島いざさヶ谷	8:38	10:38	12:38	新湯温泉	15:47
新湯温泉入口	8:45	10:45	12:45	新湯温泉出口	15:48
新湯温泉望台	8:46	10:46	12:46	新湯温泉望台	15:49
大瀬田登山口	8:50	10:50	12:50	大瀬田登山口	15:53
新浜温泉望台	8:53	10:53	12:53	新浜温泉望台	15:56
つつじヶ丘	8:55	10:55	12:55	つつじヶ丘	15:58
えびの高原(砲)	8:56	10:56	12:56	えびの高原(砲)	15:59
えびの高原(砲)	9:00	11:00	13:00	えびの高原(砲)	16:00
つつじヶ丘	9:01	11:01	13:01	つつじヶ丘	16:01
新浜温泉望台	9:03	11:03	13:03	新浜温泉望台	16:03
大瀬田登山口	9:06	11:06	13:06	大瀬田登山口	16:06
新湯温泉望台	9:10	11:10	13:10	新湯温泉望台	16:10
新湯温泉入口	9:11	11:11	13:11	新湯温泉入口	16:11
新湯温泉	9:12	11:12	13:12	龍島いざさヶ谷	16:18
新湯事業所	9:13	11:13	13:13	硫黄台	16:21
湯之野温泉	9:17	11:17	13:17	丸尾温泉	16:25
高千穂河原	9:29	11:29	13:29	丸尾 ②	16:26
湯之野温泉			13:41		
新湯事業所			13:45		
新湯温泉			13:46		
新湯温泉入口			13:46		
龍島いざさヶ谷			13:54		
硫黄台			13:57		
丸尾温泉			14:01		
丸尾 ②			14:02		



だけ
岳 (1313m)



えびのエコミュージアムセンター近くの登山口から、時計回りに三つの火口湖（白紫池・六観音御池・不動池）を巡るコースは、それぞれの火口湖の表情を楽しみながら、約2時間で一周できるトレッキングコースです。白鳥山の山頂から南には桜島が見える展望が開け、韓国岳の山容も周回に見ることができます。初夏の新緑やミヤマキリシタ、秋には紅葉が楽しめ、生育する植物も多様です。

不動池北側の分岐から片道約60分の甕岳も登山できます。甕岳の火口内にはススキの草原が広がり、中央部は南九州ではめずらしい低層湿原となっており、食虫植物のモウセンゴケが観察できます。頂上からは急勾配で狭い登山道となりますので、迷わないように気を付ける必要があります。



霧島山最高峰の韓国岳に登るルートはいくつかありますが、日本屈指の高所に位置する火口湖で、美しい景観を持つ大浪池をめぐる山頂をめざすコースが、変化に富んだトレッキングが楽しめます。

大浪池登山口から火口まで40分ほど登ると、眼下に水をはたえた大浪池、その正面にどっしりと韓国岳を望むことができます。韓国岳への道は大浪池をちょうど半周回り込んだ先に続いています。東回り、西回りのどちらでもほぼ距離は同じで、いずれかを登路に、もう一方を帰路にたどればよいでしょう。

大浪池火口登の最高点からいったん下り、避難小屋を経て急登、樹木がなくなると、やがて韓国岳の山頂に達します。

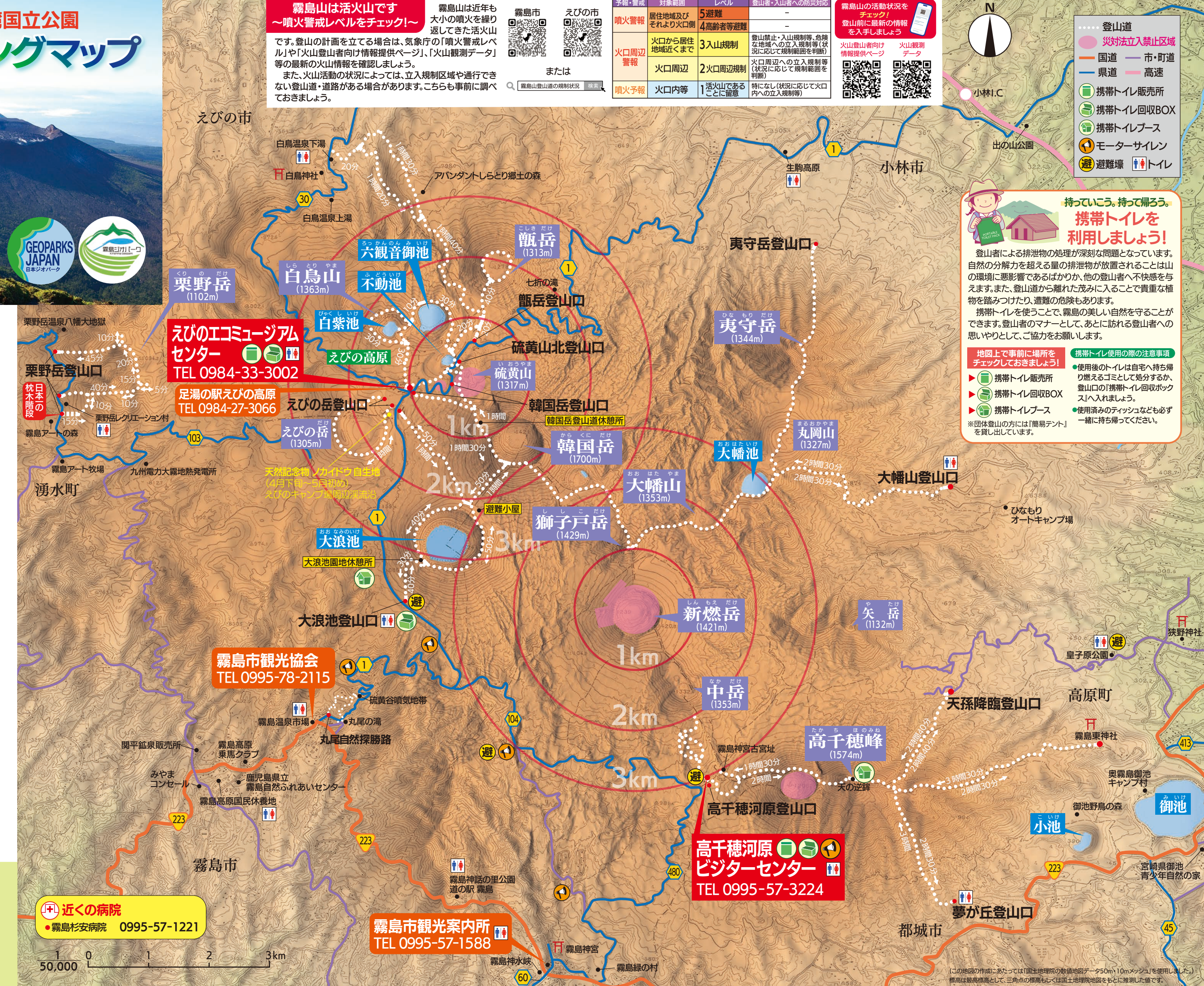
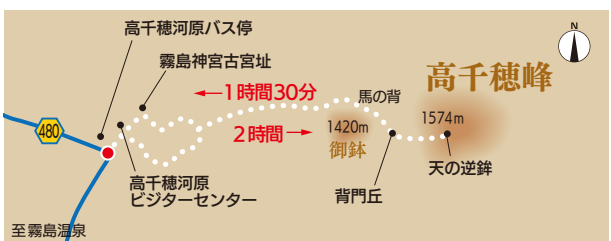


天孫降臨の山として知られる霊峰・高千穂峰は、歴史といひ、山容といひ、鳥島山の主峰の風格を十分に備えています。

登山口は、高千穂河原ビジターセンターから鳥居をくぐって、古宮址まで参道を歩き、右折して自然研究路を登ると御鉢・高千穂峰

の登山道にたどりつきます。樹林を抜けると急な斜面が現れます。茶褐色の斜面を登りますと、御鉢の頂上で、馬の背と呼ばれる火口縁を左方向へ進みます。馬の背は幅が狭いので、強風や濃霧等の時は細心の注意を払う必要があります。

馬の背から背門丘(鞍部)に降り、高千穂峰山頂へ続く登山道へ向かい
ます。山頂にたどりつくと、天孫降臨伝説の「天の逆針」があります。
登山口から高千穂峰山頂まで斜面が多く、滑りやすいので足元に注意
を払い、また、落石等にも十分気をつけてください。



【マナー】

- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 道迷い防止、植生保護のため登山道からは外れず、登りのひとに道をゆずりましょう。
- 直火はNG! 火器の使用には気を付けて!
- 自然のものは自然のままです。植物や動物の採取・損傷は法律で禁止されています。

【安全】

- 登山ルート、天気、火山活動などの情報は事前に入手し確認しておきましょう。
- 登山は自己責任が原則です。入山前には登山届を出し、ゆとりのある登山計画を立てましょう。
- 持ち物(地図、帽子、手袋、警笛、食料、飲み物、コンパス、携帯電話、携帯トイレなど)を確認し登山に適した服装で登山しましょう。また、雨具や防寒具の準備も忘れず!

※携帯電話は一部通話できないエリアがあります。

登山に関するお問い合わせ先

高千穂河原ビジターセンター 0995-57-3224

えびのエコミュージアムセンター 0984-33-3002

霧島市観光協会	0995-78-2115	都城みやまこんじょPR課	0986-23-2615
霧島市観光案内所	0995-57-1588	小林まちづくり株式会社	
霧島市観光PR課	0995-45-5111	観光案内所	0984-22-8684
霧島山麓湧水町観光協会	0995-74-5690	小林市商工観光課	0984-23-1174
湧水町商工観光PR課	0995-74-3111	高原町観光協会	0984-42-5655
えびの市観光協会	0984-37-2663	高原町産業創生課	0984-42-2128
えびの市観光商工課	0984-35-1114		

登山ガイドに関するお問い合わせ先

霧島市観光ガイド連絡協議会 0995-78-2115(霧島市観光協会内)

